

別紙1 主な作業者暴露評価手法 その他

2009年1月 花井 荘輔

		欧 州	米 国	日 本
定性的	マトリックス法			小集団活動 厚労省指針 3つの例 (埼玉県 フィジカルリスク)
	コントロール バンディング 各種条件 →制御手段	英国 HSE COSHH-Essential ILO Control Banding 欧州共同 RiskOfDerm	製薬業界 ハザードバンド NIOSH Merck社など ナノ粒子評価 パイロットシステム (Lawrence Livermore Lab)	中災防 JISHA方式 ナノテクノロジー管理手法 調査検討委員会ガイドライン
半定量的	各種条件 ・制御手段 →濃度範囲	オランダ TNO等 Stoffenmanager ドイツ BAuA EMKG-COSHH		
	実測データ →専門家の推理	英国 HSE EASE Bayes法 ?		
定量的	数理モデル 発生 分散 瞬間完全混合 近接場・遠隔場 移流・乱流拡散	オランダ RIVM ConsExpo	EPA Matthiessen (1986) Fehrenbacher (1997) E-Fast WPEM Jayjock (Rohm & Haas) Nicas (U.California)	総説 原・熊谷・中明 (2001) 山田 (2007) データによる検証等 山田, 櫻井ら 的場ら 原ら(2005) 評価システム RiskManager
	CFDなど		Kimbell (CIIT)	CFD 加藤(東大) LEVの効果 小嶋(安衛研)